

Sport・小郡

第7号

2022年1月発行



RIZING ZEPHYR FUKUOKA BASKETBALL CLINIC 2021.8.1

ライジングゼファーフクオカによるバスケットボールクリニック

※新型コロナウイルス感染症対策を講じて行いました。
教室中と写真撮影時のみマスクを外しています。



は、
ないで
しょうか。

コロナ禍でいろいろな制限がある中でしたが、元気な笑顔が見られ、子どもたちにとってはとても貴重な経験になったのではないのでしょうか。

最終ゲームが選手チーム対子どもチーム！選手に負けないプレーもあり、拍手での応援はこの日一番の盛り上がりとなりました。

前半のドリブルやシュートなど基礎のスキル系メニューでは、友希選手も周希選手も手本を示すだけでなく一人ひとりの動きに目を配り、声かけしながら一緒にプレーされていました。憧れのプロ選手からのアドバイスを受ける子どもたちの目は真剣そのもので、自分から質問をする姿もありました。後半のチームに分かれてのミニゲームでは、

感染拡大防止の観点から、参加は本協会加盟のミニバスケットチームの小学5・6年生に限定して行いました。

前半のドリブルやシュートなど基礎のスキル系メニューでは、友希選手も周希選手も手本を示すだけでなく一人ひとりの動きに目を配り、声かけしながら一緒にプレーされていました。憧れのプロ選手からのアドバイスを受ける子どもたちの目は真剣そのもので、自分から質問をする姿もありました。後半のチームに分かれてのミニゲームでは、

令和3年8月1日(日)、小郡市体育館でプロバスケットボールチームのライジングゼファーフクオカによるバスケットボールクリニックを2年ぶりに開催しました。指導は福岡出身で福岡第一高校時代に日本一を達成した双子の兄弟、#9重富友希(しげとみ ゆうき)選手と#88重富周希(しげとみ しゅうき)選手。